



2004・9・22

第11号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303
TEL 03-3221-5075
FAX 03-3221-5076

大阪講演会—3700人が感動し決意

炎天下、場外でも聞き入る

「九条の会」は9月18日、地方における初の講演会を大阪で開催し、井上ひさし、小田実、澤地久枝の3氏が講演しました。

会場となった中之島公会堂には、前夜に長崎から来て一泊した人を皮切りに昼前から長蛇の列ができ、会場いっぱいの1500人になったばかりか、会館前の階段や敷地、近所の木陰などで、特設されたスピーカーを通じて流される講演に聞き入る人々が2200人に達しました。

井上、小田、澤地の3氏は、炎天下の会場外で講演を聞こうとしている人たちに、開会直前、感謝と連帯のあいさつをおこなった後、講演に入りました。時にはユーモアをまじえながらも、気迫を込めた講演に会場の中も外もじっと聞き入り、ときおり盛大な拍手と声援で共感の気持ちを表明していました。

この日の講演会は、「『九条の会』大阪講演会を成功させる会」をよびかけた5氏の中の吉田栄司・関西大学教授が進行、澤野義一・大阪経済法科大学教授が「九条の会」と「3つの提案」の紹介を担当し、松浦悟

郎・日本カトリック正義と平和協議会会長があいさつしました。

参加者が感動をつづった感想文

◆戦争体験と他者への想いをバネに語られた内容はたいへん感動的なものでした。

結局、中には入れず、ずっと外で聴くという状態でしたが、それだけにこれだけの人びとが熱い想いを持って集まられたことに強い感銘を受けました。(男性)

◆3氏の熱い思いがひしひしと伝わり、とても感激しました。高校時代、最後の社会の授業で先生が、君達はこの平和憲法を守っていかねばなりませんよと言われた言葉が、50年近くたっても、なお忘れられません。私一人のこの熱い思いにこんなに沢山の仲間がいることがわかり心強く思い、活動してゆきたいと思いました。(カトリック・ピース9メンバー)

◆元気をもらいました。いつもいつも思っている事、たくさんの人の中で思わず嬉し涙が出ました。家に帰り子ども、孫たちに、繰り返し話しをして、これは自分の為だけでなく、貴女たち、そして世界のみんなの為だと、元気でニコニコとしつこく話

たいと思います。(70歳、女性)

◆来て見て聞いて、本当によかったと思います。心を受け取ったのですから、次は心伝えてゆかねばなりませんね。(女性)

◆私は幼稚園の教師。いつも子どもたちが幸せに大人になるように願っている。平和と愛とを大切にするように、伝えている。今日、講演を聞いて、声を出さないと、言わないといけない時にきちんと大人が考え、いわないといけないと思いました。九条を守りましょう。憲法を学び伝えることの大切さをまた、深く感じました。(女性)

◆(メールで寄せられた感想)九条の会のご講演ありがとうございました。公会堂の外でスピーカーを通して講演を聴かせていただきました。あついにもかかわらず、私の周りにおられた方々は、心静かに真剣に聴いておられたことに感銘を受けました。私の横で杖をつきながらも、じっと立っておられる女性がおられました。私も力づけられました。

各地で医師や学生の「会」

【九条医師の会とやま】8月3日、『九条の会』に賛同する富山医師歯科医師の会(略称・九条医師の会とやま)が発足しました。片山喬・富山医科薬科大学名誉教授、高野昇治・元保険医協会会長、小熊清史・保険医協会副会長がよびかけたもの。

「会」は、憲法九条の平和への理念を広く啓蒙することを目的にし、当面、9氏による「九条の会」のアピールに賛同する医師・歯科医師を県内に広げることとしています。呼びかけ人の一人片山氏は、「憲法第九条が、今や危うくなっていることを思うと何とも耐えられない気持ちになる」と語

っています。(反核医師の会会報より)

【立命九条の会】立命館大学文学部自治会は「九条の会」の設立意図に全面的に賛同し、学内護憲運動のネットワークを構築するため、「立命九条の会」という組織を設立することとしました。私たちの自治会は全員加盟制であり、「改憲」論者の存在を前提とするため、憲法9条「改正」に反対する個人・団体からなる組織です。「九条の会アピール」賛同者を学内から集めたり、学習会・講演会を定期的に予定しています。

特に私たちの学園では、1953年の「わたつみの像」建立以来、「不戦の集い」を50年間にわたって続けてきました。この集いは、学徒出陣を含む戦時の悲痛な体験への深い反省に基づき、太平洋戦争開戦日である12月8日に、「二度とペンを銃に替えない」という決意を新たにするものです。…この「不戦の集い」を結節点に、学内の世論を高めていく予定です。(メールから)

賛同者名簿の追加 9月22日現在

今後、賛同者名は随時発表します

新垣勉(弁護士)、有井行夫(駒澤大学経済学部教授)、安藤實(静岡名誉教授)、飯盛信男(佐賀大学教授)、碓山洋(金沢大学経済学部助教授)、石川輝雄(税理士)、一井昭(中央大学教授)、今宮謙二(中央大学名誉教授)、いわむらかずお(絵本作家)、上原信博(静岡大学名誉教授)、梅原英治(大阪経済大学教授)、遠藤宏一(南山大学総合政策学部教授)、大木一俊(弁護士)、大谷禎之介(法政大学教授)、大林弘道(神奈川大学教授)、大矢正人(長崎総合科学大学教授)、岡本英男(東京経済大学教授)、小野一郎(立命館大学名誉教

授)、海道勝稔、角田収(日本大学教授)、加藤義忠(関西大学商学部教授)、鎌田武治(横浜国立大学名誉教授)、川鍋正敏(立教大学名誉教授)、久保新一(関東学院大学経済学部教授)、黒滝正昭(宮城学院女子大学教授)、伍賀一道(金沢大学教員)、小松善雄、斉藤日出治(大阪産業大学教授)、坂本忠次(岡山大学名誉教授)、猿田正機(中京大学教授)、柴垣和夫(東京大学・武蔵大学名誉教授)、重富健一(東洋大学名誉教授)、重森暁(大阪経済大学教授)、島崎美代子(日本福祉大学客員研究員)、杉本昭七(京都大学名誉教授)、須黒延佳(弁護士)、高内俊一(元立命館大学教授、元毎日新聞論説委員)、高木督夫(法政大学名誉教授)、建部正義(中央大学教授)、田中重博(茨城大学教授)、鶴田廣巳(関西大学教授)、鶴田満彦(中央大学教授)、戸枝慶(仙台YWCA前会長)、徳重昌志(中央大学教授)、富森虔児(北大名誉教授)、中川スミ(元高田短大教授)、長砂實(関西大学名誉教授)、中村紀伊、中村達也(中央大学教授)、中谷武(神戸大学教授)、仲村政文(鹿児島大学名誉教授)、浪江巖(立命館大学教授)、野原光(広島大学教授)、野口宏(関西大学教授)、西口清勝(立命館大学教授)、西野勉(高知大学名誉教授)、二瓶敏(専修大学名誉教授)、野澤正徳(京都大学名誉教授)、野田正穂(法政大学名誉教授)、野村秀和(日本福祉大学教授)、林昭(龍谷大学名誉教授)、葉山利行(財団法人長崎原爆被災者協議会会長)、原田勝正(和光大学名誉教授)、姫井二郎(日本民主青年同盟委員長)、平野厚生(東北大学名誉教授)、平野喜一郎(三重大学名誉教授)、福島久一(日本

大学教授) 福田泰雄(一橋大学教授)、藤岡惇(立命館大学経済学部教授)、保住敏彦(愛知大学教授)、牧野富夫(日本大学教授)、松浦利明(日本青年団協議会会長)、松谷みよ子(作家)、丸山恵也(立教大学名誉教授)、水谷章三(日本民話の会事務局長)、宮本憲一(大阪市立大学名誉教授)、八幡一秀(中央大学教授)、山口重光(東京大学名誉教授)、横尾邦夫(国学院大学名誉教授)、吉川水城(陶芸家)、芳川久治(千葉商科大学特任教授)、吉沢和夫(日本民話の会運営委員)、吉田重雄(京都府立大学名誉教授)、吉原泰助(福島大学名誉教授)、流山児祥(演出家・俳優)

合計83名 累計898名.

お詫びと訂正

本紙前号で勝守恵さんからの「第九条の会日本事務局」解散のお知らせを要約して紹介しましたが、恵さんから「解散の理由が正確に受け取られないおそれがある」とのご指摘を戴きました。ご迷惑をおかけしたことをお詫びし、6行目の「このほど」のあとに、『9条を守る運動を各地に広げるといふ当初の目的は不十分ながら一応果たすことが出来たと考え、生前の彼(編集者註・勝守寛さん)の意向に従って、この度、事務局を解散することに致しました』として『九条の会日本事務局』を解散する意向を表明されました。」を挿入し、「なお」として「奇しくも……」以下をつづけ、『……期待しています』と述べられています」で締めるよう訂正致します。よろしくお願ひ致します。